

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年7月16日（木）に、第20回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 大麻取締法違反事件にかかる警察職員の逮捕について

大麻取締法違反事件にかかる警察職員の逮捕について報告があった。

### 委員のコメント

- 大変残念な事案だ。同年代の者に累が及んでいないか調査してほしい。非違事案が続いて残念であるが、きちんと対処することで信頼を回復するしかない。
- 非常に遺憾であり残念である。本人がどこまで犯罪という意識を持っていたのかどうか、犯罪という意識を持ちながら警察官を続けようとしていたのか、心配である。
- 新聞でもよく大麻の記事を見ており、山形県にも大麻が入り込んでいるのかと思っていたが、『ここまで来たか』という感じだ。どこまでが犯罪かということに関して、もしかすると若い人の感覚と私たちの感覚にずれが生じているかもしれない。県民にはかなり大きな衝撃を与えたと思うので、今後の対処をしっかりとしてほしい。また、ネットを通じて物を手に入れる社会への対処も必要であると思う。未成年者に薬物が広がらないための手立てを、教育関係者と共に考えていく必要がある。

## 2 山形県警察大学生サイバーパトローラーの委嘱について

サイバー空間の健全化を図り、サイバー犯罪を抑止するため、本年7月3日、県内の大学等7校25人を山形県警察大学生サイバーパトローラーに委嘱した旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 若い世代のネット活用を同年代の人がパトロールするのは意義のあることだ。規範意識の醸成の上でも有意義な施策だと思う。
- サイバーパトローラーに応募してくる学生は警察業務に興味があり、ある程度の知識を持ち合わせていると思われる。研修を通して若い人達を教育する効果もあると思うので継続してほしい。また、私たちが気付いていないサイバー上の事案や問題点についての情報を持っていると思うので、任期中の感想などを吸い上げてほしい。

## 3 令和2年上半期（6月末）の特殊詐欺被害状況及び被害防止対策について

令和2年上半期（6月末）の特殊詐欺被害状況及び被害防止対策について報告があった。

### 委員のコメント

- 県警の戦略が適切に行われていると感じる。留守番電話設定を行っている他県の状況についても教えてほしい。また、コンビニで支払わせる手口が増えているように思うので、水際対策にも力を入れてほしい。
- 阻止率が高いことを評価したい。水際対策への表彰は重要だと思う。また、新型コロナウイルスの影響がしばらく続くとなれば、新たな手口が生じるだろうから、警察署との連携を良くして、新たな手口については即座に110ネットワークで配信するなどの対策が必要だと思う。知恵を絞ってほしい。
- 巡回連絡によって留守番電話対策の効果を説明したことは効果があったと思う。また、110ネットワークでアポ電の情報を流すことも効果がある。  
ただ、発信の頻度については、定期的を実施するよりはイレギュラーな方が注意喚起には効果があると思う。また、対策の成果が挙げたことについては、現場の警察官にも伝えてほしい。

#### 4 組織的犯罪処罰法の効果的な運用について

組織的犯罪処罰法の検挙状況など効果的な運用について報告があった。

##### 委員のコメント

- 犯人側に見れば、現金を剥奪されるのは非常に大きなダメージだと思う。剥奪した現金はどう処理されるのか。(刑事部長が「犯罪被害者のいる事件の場合は、犯罪被害者に還付される」旨を説明した。)被害金が還付されるのは非常に良いことなので、どんどん実施してほしい。
- この法律を運用すれば大きな力になる。事例を共有して県警の財産にしていきたい。
- 剥奪の効果は大きく、こういうところに目を付けて対処していくことが被害防止に役立つ。

#### 5 年少者対象の強制わいせつ事件の検挙等について

令和2年6月21日発生 of 年少者対象強制わいせつ事件を検挙し、年少者に配慮した聴取等を実施した旨の報告があった。

##### 委員のコメント

- 警察には怖いイメージがあるので、女性警察官が人権に配慮した聴取をすることは、今後の捜査にいけると思う。
- この聴取方法は県警にとって画期的だと思う。年少者に負担をかけず、的確に聴取できる良い手法を確立したと言える。
- 性被害や暴力に関しては、二次被害を防ぐためにもできるだけ聴取の回数は少ない方がよい。代表者が正確に聴取し、関係機関で情報を共有するというのは非常に良い方法だと思う。

#### 6 自転車の保険等加入促進に向けた街頭啓発の実施について

本年7月1日から「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」において自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化されたことを受け、交通安全の啓発と、

同条例の周知及び自転車保険の加入促進を図るため、県及び日本損害保険協会等関係機関団体と連携し、街頭啓発活動を実施した旨の報告があった。

#### 委員のコメント

- 自転車に乗るにも保険に入る時代になったかと思うとともに、多くの高齢者が条例を知らないだろうと思う。何度も啓発活動を行わないと浸透しないので、こうした活動を繰り返し行ってほしい。また、自転車の乗り方についても指導をお願いしたい。
- 山形県は、対人口比で自転車の保有率が全国2位でありながら、保険加入率は下から2番目である。継続してPRし、加入率を高めてほしい。
- 県条例の認知度は高くないと思うが、保険に関しては、高校生の自転車通学の要件にしているところもある。自転車保険加入を徹底させる工夫が必要と思う。ヘルメットに関しては、高校生や大人にヘルメットを着用させるのは結構難しいと思うので、自転車事故による怪我の防止といった観点から啓発をしていくべきだと思う。

### 7 交通機動隊による警察署支援の取組結果について(四半期報告)

本年4月から実施している、交通機動隊による警察署支援の取組結果について報告があった。

#### 委員のコメント

- 白バイを見る機会が増えたように思う。公安委員会での発言がいかさされていると感じる。
- 先制的な派遣によって事故発生が減少したとすれば、評価したい。現在は交通事故死者の増加に歯止めがかかっていると思うので、今後も全力を挙げて阻止に努めてほしい。
- 白バイの運用は、見せる効果が最も大きいと思う。検挙件数が多いということは、それだけ違反があるということで、検挙が減るくらいまで活動を行うべきだと思う。これまで、パトカーは夕方に良く見かけたが、今は日中も良く見かける。これから夏にかけて交通量が増える時期なので、引き続き警戒してほしい。

### 8 大規模自然災害発生直後における画像情報収集の取組について

大規模自然災害に的確に対応するため、災害発生直後に画像情報等より多くの情報を迅速に収集するための取組について報告があった。

#### 委員のコメント

- 臨機応変の職員活動に有効であると感じる。発生現場の状況を把握するには、目で確認するのが最も効果的なので、この仕組みを役立ててほしい。
- いざという時に状況を把握して対応する良い取組だと思う。山形県の場合は、これまで人身に関わるような大きな災害はあまりなかったが、熊本のような災害がいつ起こるかわからない。備えをしておくべきで、悪い点を直して万全な体制を整えてほしい。

- 新しいツールは利用しない手はないが、セキュリティをしっかりとしないといけないと思う。対象となる災害が限定されているので、これは撮影する、これはしないという判断をどうやって周知するか、せつかく制度を作っても活用できないでは困るので、柔軟な対応をお願いしたい。

## 9 第38期初任補修科生に対する「警備教養」の実施（予定）について

初任補修科生に対し、新型コロナウイルス感染症をはじめ、現場で感染等が疑われる事案に臨場する際に必要となる「防護衣の着脱要領」、及び衆議院議員の任期満了を来年に控え、解散総選挙に伴う警護対象者来県時の「要人警護の実施要領」を教養し、体験させることで即戦力化を図り、現場活動に反映させるための「警備教養」を実施する旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 警察業務の中で防護衣等の着脱訓練をしなければならない時代になったということに驚いているが、今の時代においては大事な訓練である。特に、脱ぐ時に身体に細菌、ウイルスを付着させるおそれがあるので重点的に指導してほしい。それと、見落とされやすいのが足元で、長靴を履いて脱ぐだけではあるが、トレーに消毒液を入れ、靴を漬けて着脱することも検討してほしい。
- 着脱は、頭で理解したつもりでも実際にやってみないと身につかないので、どの学生も必ず1回は実際に着脱させてみてほしい。